



令和4年11月24日（木）発行

知覧小だより

No. 7

知覧小学校ブログ発信中！

知覧小ブログ

で検索



【色づき始めた知覧小のモミジ】

良い行いが運を引き寄せる～目標を達成するために～

校長 宮本 京也

立冬が過ぎ、暦の上では冬になりました。晴れた日の朝は冷え込むことがだんだんと多くなり、学校のモミジやイチョウ、メタセコイアなどは葉がだんだん色づき、紅葉の時期を迎えています。

11月1日からの「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」では、たくさんの保護者や地域の皆さんに学校にお越しいただき、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら学校や子どもたちの様子をご覧いただきました。授業参観をしていただいた方からは、

○ どの学級も熱心に楽しく学習しているおり、子どもたちの様子を見るよい機会だった。

○ 児童が積極的に発表している姿を見て、頼もしく感じた。

などの感想をいただきました。ありがとうございました。

さて、「スポーツの秋」とよく言われますが、今年はサッカーのワールドカップ（カタール大会）をはじめ様々なスポーツが話題となっています。その中で、昨年に引き続きアメリカ大リーグのエンゼルス・大谷翔平選手も連日のようにテレビ等で報じられ、今年も大きな話題となりました。話題の中心は皆さんもご存じのとおり、投手として規定投球回数、打者として規定打席に達し、大リーグ史上初となる快挙を挙げたことです。そして、投げて15勝、打っても34本塁打という好成績を挙げたことで、相変わらず大谷選手の抜群の野球センスには驚かされました。しかし、野球選手としての成績とは別に、大谷選手のプレーの狭間の行動も大きく注目されています。昨年から注目されていたのは、ある試合で大谷選手が四球を選び1塁へ向かう時にグラウンドの芝生の上に落ちているゴミをサッと拾い、何事もなかったかのように、おしりのポケットに入れるという行動でした。

実はこの行動の背景には、大谷選手の出身校である花巻東高校野球部の有名な監督の「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾うんだ。そして自分自身にツキを呼ぶ。そういう発想をしなさい。」という教えがあるといひます。「運を拾う」とは「運を自分に引き寄せる」という意味でしょう。この監督のもと、大谷選手が高校1年生の時に作成した「目標達成シート」の最終目標を「プロ野球8球団からドラフト1位指名される選手になる」と設定しました。それを達成するために必要な8つの項目（体づくり、コントロール、時速160kmの投球など）を洗い出し、それをトレーニングの中に組み込んでこつこつと取り組んできました。注目すべき点は、「体づくり」や「コントロール」などの野球の技術面と同じように、「運」という項目が設定されていることです。大谷選手が「運」の項目に書き込んだ8つの具体的な行動を見ると、「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「あいさつ」「審判への態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」と書かれています。大谷選手は、一流の選手を目指して技術向上のために相当な努力を続けてきていることでしょう。しかし、それだけではありません。日々、良い行いをしていればそれが当たり前になる振る舞うことができるようになり、自分の行動や態度によって運を引き寄せようと努力を続けてきた結果、いろいろな幸運が舞い込んで、二刀流の選手として大リーグで活躍することができたのです。

身長	170cm	体重	70kg	打率	0.300	本塁打	34
球速	150km/h	コントロール	優	打席	100	三振	10
投球	右投げ	守備	強	盗塁	0	犠打	0
バッティング	両手	走塁	速	犠飛	0	エラー	0
守備	強	打撃	強	盗塁成功	0	盗塁失敗	0
精神力	強	打撃	強	盗塁成功	0	盗塁失敗	0
集中力	強	打撃	強	盗塁成功	0	盗塁失敗	0
体力	強	打撃	強	盗塁成功	0	盗塁失敗	0

【大谷選手の目標達成シート（一部）】

これまで大谷選手の人としての在り方・考え方に触れ、私自身も大きな刺激を受けました。そして、本校の子供たちが自らゴミを拾ったり、乱れたトイレのスリッパを並べたりする姿を時々見かけることがあります。この子供たちも運を引き寄せ、目標が達成することを願っています。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

今年も県民週間の期間中、様々な交流活動や体験活動、学校自由参観を実施しました。その一部を紹介します。

知覧幼稚園児と交流



3年生は園児と一緒に「ありがとうの花」の歌を手話を交えて練習しました。

1年生は、自分たちで作ったおもちゃや自分たちで考えたレクリエーションゲームで交流しました。



薩南工業高校生と交流

生活科学科2年生のお姉さん方が、2年生の子供たちに読み聞かせや折り紙作りを教えてくださいました。最初はお互いに遠慮がちでしたが、終わる頃にはすっかり打ち解けて仲よくなりました。



10歳を祝う会

4年生は、自分の将来の夢や特技について発表したり、保護者の方々とドッジボールの対戦をしたりして交流しました。



知覧茶についての出前授業

5年生は、宮原俊郎さんにおいでいただいて、知覧茶業についての子供たちからの様々な質問に答えていただきました。



薩南工業高校生と交流

6年生は、生活科学科3年生のお姉さん方にナップザック作りの指導をしていただきました。丁寧な指導で交流が深まりました。12/19には、今回指導をいただいた方々の「浴衣・ドレスのファッションショー」を見に行く予定です。



修学旅行



11月16日～17日に修学旅行を実施しました。

今年もコロナウイルス感染症対策を考慮し、大隅半島をめぐる旅行としました。

1日目は、フェリーに乗って桜島に渡り、桜島小みかんを収穫したり、イルカショーを見た後にイルカとふれ合ったりしました。2日目は、上野原縄文の森で勾玉作りを体験をしたり、和菓子店で和菓子作りを体験したりしました。最後はみんながボーリングを2ゲームずつ行い、大いに盛り上がりました。ホテルでは、友達と寝食をともにすることで、より友情が深められました。



コロナウイルス感染症対策のため県内での修学旅行としましたが、普段できない体験をして、思い出に残る修学旅行になったと思います。

12月の主な行事

- 1日(木)～10日(土) 人権旬間
- 2日(金) 学級PTA・学校保健委員会
家庭教育学級
- 7日(水) 第8回はなづらまつり実行委員会
第3回PTA評議員会
- 10日(土) 持久走大会



- 19日(月) 薩南工業高校との交流(6年生)
- 23日(金) 2学期終業式(給食あり)

- ※ 29日(木)～1月3日(火)は、学校は閉庁しています。
- ※ 3学期始業式は、1月10日(火)です。

やましたいげきあと はないで 史跡コーナー 山下井堰跡(花井手)

井堰(いげき)とは、農業や生活などで水を利用するために、川の水を止めて水位を上げ、用水路に送るためのものです。

山下井堰は、夢郷館付近の麓川に安永9年(西暦1780年)に石の井堰が築かれたとされており、それ以前は竹などで編んだものを使用していたと考えられています。現在は可動式になっており、ここから送られた水は下郡の田に供給されています。

